

平成 29 年度 第 2 回 池田市子ども・子育て会議 議事録（要約）

日 時：平成 30 年 2 月 27 日（火） 午前 10 時～正午

場 所：池田市役所 3 階 議会会議室

出席者：市長、委員 11 名、事務局他 16 名

1. 開 会

市長挨拶

- 本市は平成 17 年度に子ども条例を制定。この条例は子育て施策を実施することの裏付けとなるものであり、子どもの数に応じて施策を充実させることを定めている。
- 国における子ども・子育て支援新制度構築に向けた流れの中、本市では平成 23 年度に子ども条例を改正し、全国に先駆けて子ども・子育て会議を設置した。子ども・子育て会議に本市の実情を報告し、委員の皆様のご意見を頂戴しながら、今後の子育て施策の展開へとつなげていくものである。
- 政府は幼児教育無償化を掲げており、府内の一部の自治体でも平成 29 年度から保育料の全額無償化を実施している。保育料の無償化により、他市からの移住が増え、保育所に入所できた場合には無償の恩恵を受けることができるが、入所できなかった場合には子育てにかかる費用が全て負担となり、かえって格差が増大する事態になっていると聞く。
- 本市では「教育日本一」「子ども・子育て支援日本一」を掲げ、「教育日本一」については、平成 28 年度から毎年度予算を拡充し、施策の充実を図ってきたところ。「子ども・子育て支援日本一」については、平成 30 年度は予算を拡充し、私立保育所等への基本助成など、ソフト面の充実を図ることとしている。ハード面については、待機児童解消のための私立保育所等の整備に支援を行うなど、保育の定数増に努めてきた。平成 28 年度に初めて国基準の待機児童が発生したため、保育所待機児童問題緊急対応宣言を発し、石橋地域に公立認可外保育施設を整備した。平成 29 年度は 110 名分の定員増を行い、平成 30 年度も 105 名分の定員増を行うことで国基準の待機児童ゼロを見込んでいる。また平成 31 年度には 140 名分の定員増を見込んでいる。
- 一方で国基準でない、限定待機も存在しており、こうした問題も含めて、子ども・子育て会議にお諮りをしながら子育て施策を進めていきたい。

2. 内 容

1) 委員長及び副委員長の選任について

- 委員の互選により、委員長は大方委員、副委員長は中川委員に決定。

2) 池田市子ども・子育て支援事業計画 中間年の見直しについて

3) 幼保連携型認定こども園の認可について

4) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について

《質疑応答》

Q. 計画の見直しについて、見直し後の数値は、待機児童ゼロにつながるものと考えてよいのか。

A. 本計画においては保育の量の見込を算出し、それに対応する定員の確保内容を定めるもの。人口推

計の見直しや女性就業率の上昇により、保育の量は増加を見込んでおり、上昇する保育ニーズに応じた定員の確保内容を定めています。基本的にはニーズに対応する計画となっています。

5) 平成30年度予算(案)概要

- ・エンゼル補助制度(第3子保育料負担軽減)
- ・子育て世代包括支援センターの設置について
- ・子ども家庭総合支援拠点の設置について
- ・その他

《質疑応答》

Q. 放課後子どもの居場所づくり事業を開始すると現行のキッズランドの取組みはなくなるのか。

A. 放課後子どもの居場所づくり事業は、教育委員会の事業であるキッズランドの取組みとは別であり、その補完的な役割となるもので、平日毎日と長期休業期間も実施する予定です。

Q. 放課後子どもの居場所づくり事業の平成30年度から実施するモデル校は決定しているのか。

A. 事業の実施主体となる事業者は公募型プロポーザル方式での募集を予定しています。提案を踏まえ、モデル校を検討し、協力依頼をしております。

Q. 放課後子どもの居場所づくり事業の経費はほぼ人件費にあたるものと考えてよいのか。

A. 本事業では指導員を雇用することで安定的な運用を図っております。

Q. 現在も1歳6か月と3歳6か月で歯科健診があり、フッ素塗布も定期的に案内がある。新たに2歳6か月の歯科健診が追加されるということは、この2年間で虫歯になるリスクが高いのか。

A. 1歳6か月児健診以降、3歳6か月児健診までの間にく齧の患者は増加傾向にあります。予防歯科(フッ素塗布)もございますが、近年、受診率は低下しております。

Q. 小規模保育事業所の整備補助について、平成31年度に新たに開設が予定されているのか。

A. 石橋エリアに1箇所、新設が予定されています。

《意見》

- ・子ども・子育て支援日本一に向けた取組の資料内に、年齢制限のない骨髄移植ドナー支援事業が記載されている。小児がんや予防接種との関係など、子育て施策と位置づけた理由を明記した方が、その価値がより伝わるのではないかと。
- ・現行の留守家庭児童会とキッズランドにおいても兼ね合いが難しい部分がある。そこに放課後子どもの居場所づくりというキッズランドと似た事業が毎日運営されるのであれば、制度的な部分をしっかりと整理した上で実施していただきたい。

3. 閉会